

## トライトンブイ5号基の漂流について

独立行政法人海洋研究開発機構(理事長 加藤康宏)は、トライトンブイ5号基が漂流していることを、本日確認しましたのでお知らせします。

### 1. 現在の状況

9月16日9時現在、ブイは南緯2度、東経156度の地点(別紙1)から、0.1~0.2ノット程度の速さで南東方向へ移動しています。送信機により、常時ブイの位置の計測は継続中です。

### 2. 推定原因

9月10日頃よりトライトンブイの水深データが異常な動きをしていた。9月14日頃より水深データが一定すると共に、位置データが変位していることから、深度センサー下部のナイロンロープが切断され漂流中であると推定される(別紙2)。尚、切断の原因は漁船等による係留等が考えられるが、詳細は不明である。

### 3. 今後の予定

海上保安庁に、周囲の船舶に対して注意を喚起するよう本日依頼した。  
現在のところ、漂流先に障害となるもの又は被害を与える恐れのあるものは無く、漂流状況の監視を続けるとともに、当機構の調査船もしくは備船を使い回収することを検討中です。

問い合わせ先

海洋研究開発機構

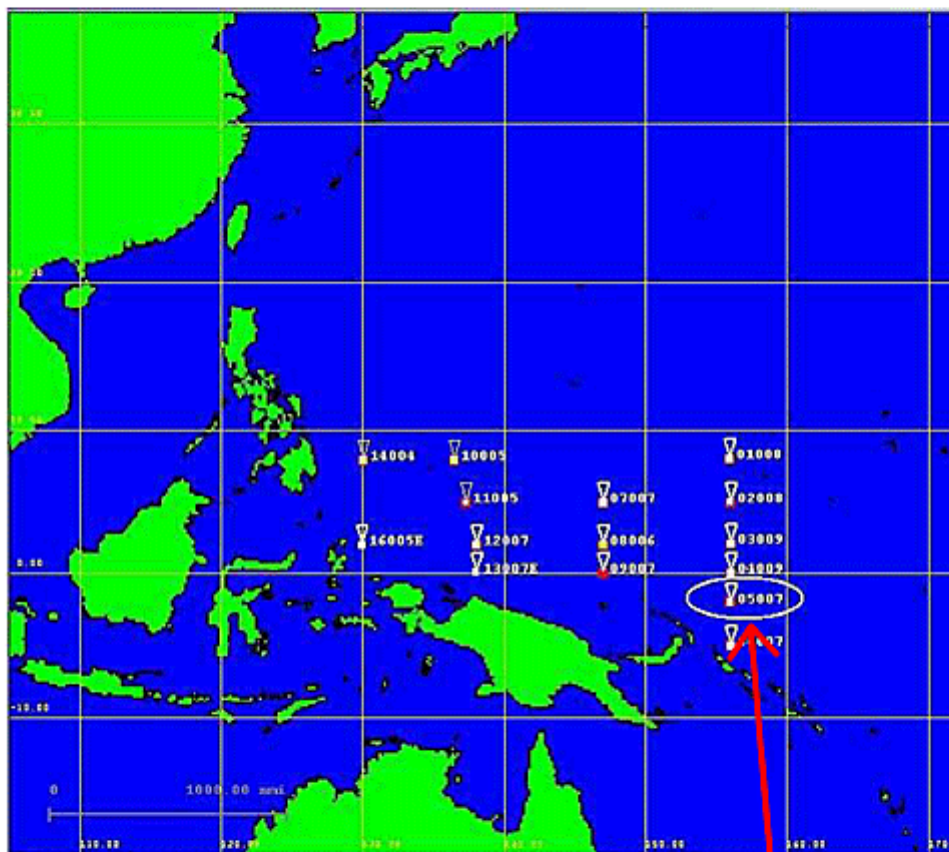
海洋工学センター研究支援部観測ブイグループ 黒田 山口

TEL 046-867-9912

経営企画室 報道室 大嶋 五町

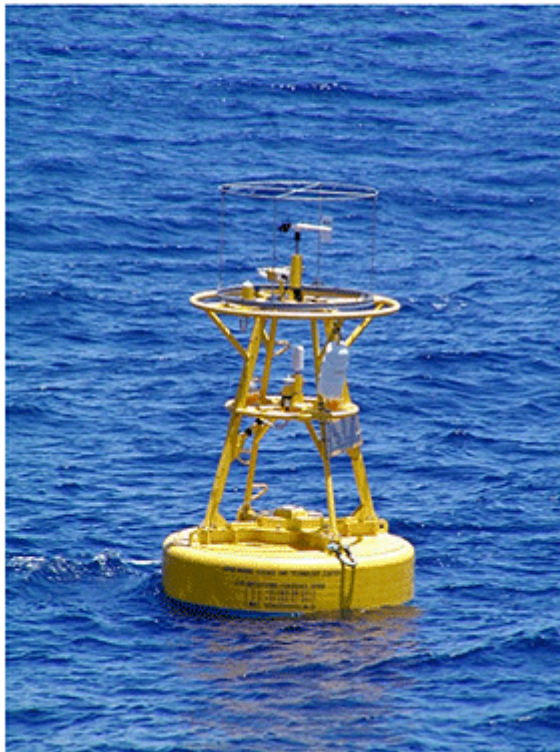
TEL 046-867-9193

# トライトンブイ展開図



漂流しているトライトンブイ5号基

# トライトンブイの構成



風向、風速、気温、湿度  
気圧、雨量、日射

別紙2

